

かおるのたからもの (1)



ねらい

◆あらすじをとらえる

ものがたりぶん

物語文を読むときには、お話の中で、だれがどんなことをし、どんなことが起こったかを、お話に出てくる順にとらえます。

はじめに起こったこと

← 前のこととむすびつけて考える。

つぎ
次に起こったこと

← 前のこととむすびつけて考える。

さいごに起こったこと

◆たしかめながら読みましょう

- ・ だれが、どうしたか。
- ・ いろんなことが起こったか。
- ・ 前のことをうけて、だれが、どうしたか。
- ・ 前のことをうけて、だれが、どう思ったか。

育	意	発	君	区	急	屋
月	心	ハ	口	匚	心	戸
8	13	9	7	4	9	9
イ ク ソ ダ ツ ハ グ ク ワ	イ	ハ ツ	ク ン キ ミ	ク	キ ユ ウ イ ソ グ	オ ク ヤ

漢字を書こう。

(1)

山田クンの家へ行く。

(2)

ハツイクがよい。

(3)

イソいで行こう。

(4)

ホンヤさんの店先。

(5)

線を引いてクギる。

(6)

キミとぼく。

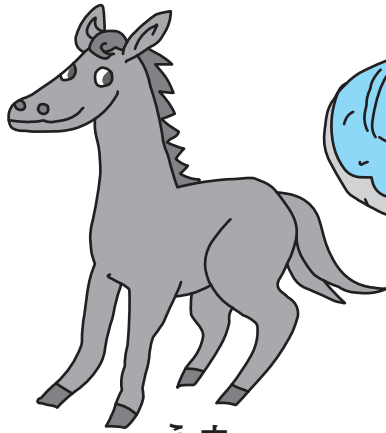
(7)

イケンをのべる。

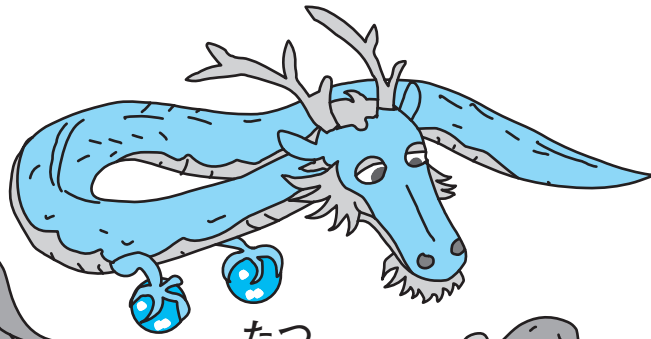


十二支^しー十一

「ぼくは〇〇年うまれ」なんていうときに使う「十二支」の動物が集ま^{どろあ}ったよ。でも来ていない動物と、よぶんな動物がいる。それは何だろう？



うま



たつ



ねこ



さる



とら



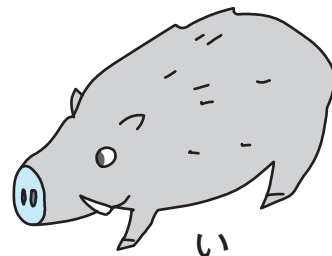
うし



ね



う



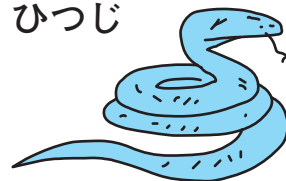
い

よぶんな動物

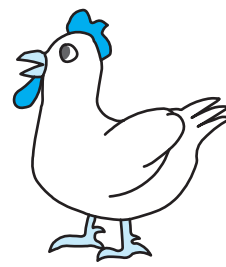
来ていない動物



ひつじ



み



とり

かおるのたからもの (2)



ことば・コトバ・言葉

◆国語辞典の使い方

- 国語辞典を使って、ことばの意味を調べられます。
- ことばは五十音順にならんでいます。
 - 形のかわることばは、言い切りの形でのつています。

〈れい〉 食べました↓食べる

- 濁点や丸のつく字で表す音は次の順でならんでいます。

①清音(あ・さ など) ↓ ②濁音(が・ば など)
↓ ③半濁音(ぱ・ぽ など)

- 小さい字で表す音(っ・ゃ など) は大きい字で表す音の前にならんでいます。

※辞典によってはちがうこともあります。

- のばす音(ー)は、前の音によって「ア・イ・

ウ・エ・オ」として考えます。

〈れい〉 コーヒー↓コオヒイ



漢字を書こう。

動	注	題	章	表	拾	横
カ 11	じ 8	頁 18	立 11	衣 8	オ 9	木 15
ドウ うごく うごかす	チュウ そく	ダイ	シヨウ	ヒヨウ おもて あらわす	ひろう	オウ よこ

- うらとオモテ。
- 茶わんに湯をソソぐ。
- お金をヒロウ。
- ブンシヨウを書く。
- 手足をウゴかす。
- ダイメイを考える。
- 道をヨコギる。

ことば・コトバ・言葉

1 次の——線のことはを国語辞典じてんにのっている形（言
い切りの形）で、すべてひらがなで書きなさい。

(1) 空を見た。

(2) 大声でわらいましょう。

(3) とても楽しかったね。

2 次のことはを国語辞典きごうにのっている順じゆんにならべ、
記号で答えなさい。

(1) ア はんにん イ ばんにん

ウ パン エ ばん

(2) ア スター イ スタイル

ウ ストップ エ スープ



「こま」→「ごま」のように、「だくてん（濁点）」を
つけるとべつのことばになるものがあるよ。
次のことは何になるかな？

① まと



② はら



③ かめん

